



スクールリポート

▶学校教育課
☎23-3679

学校生活の
一コマを
紹介



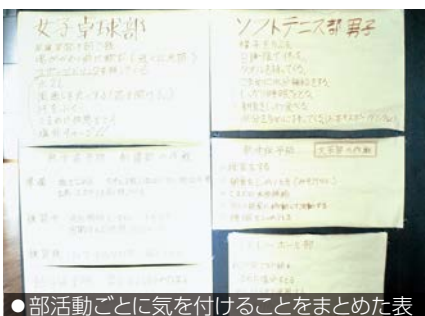
「暑い夏を乗り切ろう！」

熱中症対策集会を通して

東部中学校



●みんなで話し合ったことを書き出す生徒



●部活動ごとに気を付けることをまとめた表

6月に実施した全校集会で、保健委員会が中心となって、部活動と協力・連携し、「熱中症対策集会」を開催しました。

昨年度のような猛暑が予想されていたため、屋外だけではなく、体育館や武道場などでの活動の際にも、熱中症が心配でした。生徒たち自身が、部活動ごとに集まり、熱中症について考え、確認し合いました。

生徒たちは、自分たちにできる対策を伝え合ったり、予防方法を確認したりしたことを模造紙にまとめました。「睡眠を十分にとること」「朝食を食べて登校すること」「体調がおかしいと感じたら、無理をせず早めに休むこと」「小まめな水分補給をすること」など、部活動の特色を考慮して、それぞれが気を付けることを出し合いました。

また、学校にある6台の熱中症指数モニタを積極的に活用し、生徒の活動する教育環境の安全に配慮しています。

生徒、教職員で協力し、安心・安全を第一に考えた教育活動に取り組んでいます。



「礼に始まり、礼に終わる」

大草相撲を通して育つ子どもたち

大草小学校

本市の学校で唯一、相撲場がある大草小学校。「相撲」を通して全校児童81名の心と体を育てています。春場所、夏場所、秋場所の年3場所があります。

子どもたちは特製のまわしを付け、土俵に上がります。取り組む姿はどの子も真剣で、手に汗握る熱戦が繰り広げられます。行司から勝ち名乗りを受け、手刀を切って土俵を降ります。取組後も必ず礼をし、対戦相手に対して勝っても負けても敬意を表すことで、相手を思いやる心を学んでいます。そして、全校児童・保護者・地域の方を前にしての1対1の取組は、子どもたちの自信と誇りも育てています。

夏場所には、藤島部屋の藤大成さんを迎え、本物の力士と触れ合う機会も設け、迫力のある相撲をより身近に感じながら、楽しんでました。

また、去年新たに「大草すもう体操」が完成しました。土俵入り、四股、攻めや守りの型などを取り入れた体操は、場所ごとに披露され、大草小学校の自慢の一つとなっています。これからも相撲を通して、子どもたちの心も体も育てていきたいです。



●藤大成さんに挑む児童たち



●1対1の真剣勝負